

里地里山保全・再生の特征的取組 個票 A (対象地域の概況)

N0.126			馬路村		生物地理区分			シイ・カシ萌芽林		
					地域区分			中山間地		
所在地	都道府県	高知県	地形条件	○	1.山地		2.山麓部		3.丘陵・台地	
					4.低地		5.その他()			
	市 町 村	馬路村	環境要素		1.二次林		2.草地		3.水田	
					4.畑		5.小川・水路		6.ため池	
					7.池沼・湿地		8.社寺林		9.人工林	
	集落名称等	馬路村全域		◎	10.その他（果樹園）					

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

◎:面積割合が最大のもの ○:それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状



写真の説明: 馬路村の風景。山の傾斜地に点々とゆず畑がある。



写真の説明: ゆず農家(「おんちゃん」と呼ばれている)と収穫後のゆず。



写真の説明: ゆずの収穫の様子。



写真の説明: ゆずの集荷の様子。



写真の説明: 「ゆずがはじまる祭」の様子。ゆずの収穫はじめを祝う祭りで、村外から多数の人が訪れる。



写真の説明: ゆずの森工場。工場をあまり目立たせないため、また、工場見学に来たお客さんに工場までの道も楽しんでもらうため、周囲を森で囲んでいる。

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 B（取組の内容）

取組主体 ◎：主な主体、○：その他の主体

NO. 126		馬路村	取組主体		1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	高知県		◎	2.団体・企業・学校等
	市町村	馬路村			3.行政による支援施策の活用
	集落名称	馬路村全域			4.多様な主体が参加・連携する組織体
					5.その他

取組主体	主な主体の名称		馬路村農業協同組合
	その他の主体の名称		
目的 ●：主 ○：その他	●	1.農林業を通じた里山や草地の利用（管理）の維持・活性化（伝統的なものも含む）	
		対象・取組内容	【特産品の開発と村のブランド化による農業振興】 馬路村はもともと林業地域であったが、林業が衰退し、農業適地も少なかったことから、ゆずが栽培されていた。特産品であるゆずから、ポン酢醤油「ゆずの村」やゆずジュース「ごっくん馬路村」といった商品を開発し、商品とともに馬路村を丸ごと全国に売り込むことで、年商 30 億円を超えるまに成長した。特産品であるゆずを活かして村おこしを行うため、平成 13 年にゆずの森構想を立ち上げ、平成 18 年にはゆずの森加工場を建設した。この加工場は直売所やパン工場も併設しており、観光客との交流の場にもなっている。
		支援措置	
連携・協働による 取組内容・役割分担等			
取組の特徴や強調したい点			この地域にある資源「ゆず」を活かして商品を開発し、都会を中心として販路を見つけ全国から注文を受けるまでに成長した。これらの商品には馬路村の特徴が出るように工夫し、また、パンフレット等を用いて馬路村そのものを売り込んできた。これにより全国から注目を集め、現在では年間 6 万人もの観光客が訪れるようになっている。地域にある資源を工夫して売り出すことにより、地域活性化が実現された。

取組の概要	特産品であるゆずを活用して特産品を開発し、村そのものをブランド化	課題グループ
事例の特性	産品の地域ブランド化、加工品づくり、流通・販売ルートの拡大	●農林業
取組の中で他の地域の参考となる点	地域にある資源を活かして他地域にはない商品を開発し、都会を中心として販路を開拓することで、村をまるごと売込み	